

空調機選定・見積依頼

WEB上で完結

新晃工業 空調機無料検索サービス開始

新晃工業（社長・末永聡氏、本社・大阪市北区）は空調機検索サービス「SINKO」タイレクターの運用を始めた。空調機の選定は難しいので「との声に応えた無料のWEBサービスで、1万件以上のサンプルデータから空調機の選定、問合せ、お気に入り登録、見積依頼がWEB上で完結する。

具体的な製品イメージが決まっている場合は、画面に表示される検索ボックスから希望する風量や機能を入力し、「検索ボタン」を押せば現場に合う製品一覧が表示される。検索結果の一覧では、製品サイズやモーター容量などで並び替えが可能で、設置スペースの検討を省力化できる。具体的な製品イメージが決まっている場合、オフィスや工場といった建築用途を選ぶことで製品一覧が表示され、

気になる図面があれば「詳細」をクリック、問合せ依頼すればサイト内で同社営業担当者からの返答が得られる。電話やメール等による問合せの手間が省ける。

また、フォルダを分けてお気に入りの登録できるので、複数の案件を持つている場合でも管理が容易。気になる製品をまとめて登録しておくことで「工事案件のアイデアスツック」としても利用できるという。同社ではサンプルデータについて、順次拡充していくとしている。

新晃工業は昨年11月8



サンプルデータは10,000件以上
空調機の選定、見積り依頼をWEBで完結！



日に公表した同社グループ中期経営計画「move.2027」の業績目標を上方修正した。それによると修正前の連結売上高560億円、連結営業利益（7%増）を600億円（7%増）と修正前86億円を

100億円（16%増）とした。なお、同社の2024年3月期連結業績は売上高が前期比15.9%増の519億4千300万円、営業利益同43.8%増の86億2千700万円、経常利益同39.4%増の91億2千450万円、当期純利益同45.8%増の65億8千400万円。産業空調の投資が続いたほか、データセンターへの投資も拡大し、管工事設備工事会社の受注高が高水準の推移を示したことが好決算につながった。5月14日の決算発表で末永社長は「今期も見通しは明るい」と話した。